

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ア	生物多様性の保全	施策	① 自然環境の保全に向けた調査研究及び推進体制の構築
			施策の小項目名	○在来種の保護・保全に向けた研究
主な取組	うちなーロードセーフティー事業			
対応する主な課題	①本県は亜熱帯性気候のもと、サンゴ礁が発達した青い海に囲まれ、貴重な野生生物が数多く生息しているが、本土復帰後からの社会資本整備等により多くの自然環境が失われ、沖縄の生物多様性が失われていくことが危惧されている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
生物にふさわしい環境作り、道路環境の改善等を行うことで、ロードキル防止及び道路利用者に対し安心して走行してもらう事を目的に、対策工事及びモニタリング調査を実施する。		H29	H30	R元	R2	R3
実施主体	県					対策工事、モニタリング
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課 【098-866-2665】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： ロードキルを防止するため、北部地区においてボックス設置工事及びモニタリング調査を実施した。 OR3年度： -	
							一括交付金(ソフト)	直接実施		

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： OR3年度：	

活動指標名	対策工事、モニタリング調査				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		対策工事実施	対策工事、モニタリング調査実施	対策工事、モニタリング調査実施	対策工事、モニタリング調査実施	対策工事、モニタリング調査実施	対策工事、モニタリング調査実施	100.0%	22,201	順調
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 北部地区において、ヤンバルクイナのロードキル対策として警戒標識を設置する対策工事を1件、路上調査や横断ボックスへのカメラ設置などのモニタリング調査を2件実施し、「順調」であった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和2年度の取組改善案	反映状況
・沖縄の生態系・生物多様性の維持のため、これまでに実施してきたモニタリング調査やロードキル対策工事の事業効果や課題について、関係機関（環境省等）との情報共有を図り、連携したロードキル対策に取り組む。	・環境省など関係機関と連携しながらモニタリング調査やボックス設置工事などロードキル防止に取り組んだ。

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・環境省ではやんばる地域における希少生物のロードキル件数の集計を行っており、道路管理者と連携してロードキル防止に取り組んでいる。

○外部環境の変化

・沖縄県はやんばる地域及び西表島の世界自然遺産登録に向け、生態系・生物多様性の維持に取り組んでおり、希少な生物の保護対策（ロードキル防止）は重要な課題の一つである。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・関係機関（環境省など）が開催する会議やイベントに積極的に参加し、道路における効果的なハード対策を実施出来るよう関係機関との密な連携体制の構築が必要である。
・やんばる地域にはヤンバルクイナやケナガネズミなど多くの希少生物が生息しており、ロードキル防止に取り組むことにより、やんばる地域の生態系・生物多様性を維持する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・沖縄の生態系・生物多様性の維持のため、これまでに実施して来たモニタリング調査やロードキル対策工事の事業効果や課題について、関係機関（環境省等）との情報共有を図り、連携したロードキル対策に取り組む。